



世界遺産「平泉の文化遺産」

平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-

平泉世界遺産 <https://www.town.hiraizumi.iwate.jp/heritage/> 会報/No.28

令和6年3月22日発行

発行：平泉町世界遺産推進協議会
事務局：平泉町世界遺産推進室
〒029-4102 平泉町平泉字花立44
TEL 0191-46-2218 FAX 0191-46-4019
E-mail:sekaiisan@town.hiraizumi.iwate.jp



法要の様子

県が定める「平泉世界遺産の日」である6月29日、平泉の理念「平和と平等」を世界に向けて発信する「平和の祈り」が毛越寺本堂前を会場に開催されました。この行事は「平泉の文化遺産」が世界遺産に登録された日に、奥州藤原氏が希求した平和な世界の実現への祈りを目的に開催されており、町内外から約200名が参加しました。

平和理念の発信 『平和の祈り』開催

初めに町内の8つの寺院の僧侶による法要で、東日本大震災からの復興祈念、物故者の慰霊、疫病退散、世界各地の紛争の解決や恒久平和を祈願しました。その後、町内小学校児童による合唱、平泉ユネスコ協会文化財愛護少年団による世界平和へのメッセージが読み上げられました。



毛越寺本堂前で町内小学校児童による合唱

令和6年 平泉町観光イベント一覧

※日程及び内容については、令和6年3月1日時点のものです。今後変更になる場合があります。

日程	内容	実施場所
1月 1日 ~	金色堂建立900年記念御朱印	金色堂内朱印所
16日 ~ 4月 21日	金色堂建立900年記念企画展	平泉文化遺産センター
23日 ~ 4月 14日	特別展「中尊寺金色堂」	東京国立博物館
23日 ~ 4月 24日	宝物館調査蔵企画展「金色堂の信仰と継承」	中尊寺宝物館(調査蔵)
2月 月上旬	中尊寺節分会	中尊寺
4月 13日 ~ 8月 25日	企画展「清衡の平泉-伊豆山神社の紺紙金銀字一切経-」	平泉世界遺産ガイダンスセンター
26日 ~ 11月 未	金色堂建立900年記念企画展	平泉文化遺産センター
27日 ~ 5月 6日	金色堂建立900年記念ノバルティの配布	中尊寺
5月 1日 ~ 5月 5日	春の藤原まつり	町内
26日	毛越寺曲水の宴	毛越寺
6月 15日 ~ 7月 7日	あやめまつり	毛越寺
16日	あやめまつり「延年の舞」特別公演①	毛越寺
23日	あやめまつり「延年の舞」特別公演②	毛越寺
28日	平和の祈り	中尊寺
29日	平泉芭蕉祭全国俳句大会	毛越寺
7月 13日 ~ 7月 14日	平泉水かけ神輿宵宮(夜祭り)、平泉水かけ神輿本渡御	町内
20日 ~ 8月 30日	早朝坐禅会	毛越寺
8月 14日	中尊寺新能	中尊寺境内白山神社能楽堂
16日	浄土庭園法灯会	毛越寺
16日	平泉大文字送り火	町内
20日	中尊寺金色堂建立900年慶讃法要	中尊寺
9月 14日 ~ 9月 29日	萩まつり	毛越寺
14日 ~ 9月 16日	三陸郷土芸能奉演①	中尊寺
21日 ~ 9月 23日	三陸郷土芸能奉演②	中尊寺
10月 1日 ~ 10月 20日	毛越寺本堂内特別拝観	毛越寺
2日 ~ 10月 29日	中尊寺山内の古仏展(前期)	中尊寺宝物館(調査蔵)
19日 ~ 10月 30日	毛越寺仏画展(前期)	毛越寺
20日 ~ 11月 15日	中尊寺菊まつり	中尊寺
26日 ~ 11月 10日	紅葉銀河~参道ライトアップ~	中尊寺
30日 ~ 11月 26日	中尊寺山内の古仏展(後期)	中尊寺宝物館(調査蔵)
11月 1日 ~ 11月 3日	秋の藤原まつり	中尊寺、毛越寺
1日 ~ 11月 10日	毛越寺仏画展(後期)	毛越寺

中尊寺金色堂 建立900年
令和6年は中尊寺金色堂建立900年の節目の年となり町内外でさまざまなイベントが行われます。注目のイベントは東京国立博物館で、特別展「中尊寺金色堂」が開催されています。

特別展では、堂内中央の須弥壇に安置されている国宝11体を初めて一堂に展示するほか、きらびやかな堂内荘厳具の数々を紹介しています。会期は4月14日までとなりますのでこの機会に平泉の至宝をぜひ東京でご覧ください。



会員募集中!

当協議会では、随時会員を募集しています。

「平泉の文化遺産」の保護や拡張登録推進の活動を支援いただける方は、どなたでも入会できます。

(年会費) ・個人会員 1,000円 ・団体会員 3,000円

◎お問い合わせ先 平泉町世界遺産推進協議会事務局 (0191-46-2218)

平泉駅前きらめきマルシェ

7月2日、「第3回平泉駅前きらめきマルシェ」がJR平泉駅前広場にて開催されました。

イベントでは、平泉の地場産品や加工品などの販売、PRを目的としており、推進協議会では「世界遺産コーナー」として出展しました。

出展では昨年整備が進んだ無量光院跡や平泉の世界遺産を紹介するパネル展示のほか、釜石市の橋野鉄鉱山、一戸町の御所野遺跡とともに「岩手の世界遺産」として、ポスターや世界遺産に関連するクイズを行い、観光客にアピールしました。



観光客でにぎわいました

令和5年度推進協議会総会

7月13日、令和5年度平泉町世界遺産推進協議会総会を岩手県立世界遺産ガイダンスセンターにて、約30名の会員が出席のもと開催いたしました。

菅原正義会長からの挨拶の後、菅原幹成副町長、高橋拓生町議会議長から祝辞を頂戴し、情勢報告として、現在の拡張登録への進捗状況等について説明を行いました。

議事では令和4年度の事業報告、収支決算が承認されたほか、令和5年度の事業計画、収支予算案についての説明を行いました。



平泉世界遺産ガイダンスセンターで開催

令和5年度推進協議会研修会

11月8日に、福島県国見町と宮城県角田市を視察し研修を行いました。当日は会員20名が参加しました。

研修のメインは福島県国見町の阿津賀志山防塁です。

この防塁は文治5年（1189年）に源頼朝が率いる鎌倉方と奥州藤原氏の軍勢が戦った「奥州合戦」における最大の防衛ラインであり、いまなお遺構が良好な状態で残っています。

防塁は二重の堀と三重の土塁からなる「二重堀構造」を基本とし、長さは国見町の阿津賀志山中腹の斜面から阿武隈川まで隙間なく築かれ全長3.2kmにわたります。

また、この一帯は東北本線・国道4号・東北自動車道が平行して通っていることからわかるように、北上するには必ず通らなければならぬ交通の要衝であり、藤原氏としてこの地で迎え撃つとする姿勢が見てとれます。

最初に国見町の歴史文化資料調査官の笠松さんに阿津賀志山防塁の解説をしていただきながら、東国見・西国見地区（写真1）、下二重堀地区などを見学し、土塁の高低差から当時のダイナミックな戦いの様子などの説明をいただきました。



写真1 阿津賀志山防塁
手前が堀で奥が土塁(高低差約3.5m)



写真2 高蔵寺阿弥陀如来坐像



八重樫ガイダンスセンター長による館内の展示説明

総会終了後には、八重樫忠郎ガイダンスセンター長を講師に「芭蕉が歩いた道」と題して講演会を開催しました。講演では芭蕉の行程から考えると平泉の滞在時間がとても短かったとして、笑いを交えながらご講演いただき、参加者は当時の平泉の光景に思いを馳せました。

講演後はそのまま館内の展示説明をしていただきました。

また、あつかし千年公園では中尊寺から株分けされた中尊寺蓮の蓮池を見学し、平泉町とのつながりを感じる事ができました。

次に宮城県角田市にある勝楽山高蔵寺の阿弥陀堂を見学しました。

高蔵寺は阿武隈川の下流、角田市の西方に位置し、819年に徳一菩薩が創建したと伝えられています。

阿弥陀堂は宮城県最古の木造建築で、平安時代の建造物は、現在全国で26か所しか残っておらず、東北地方では平泉の金色堂、福島県白水の願成寺阿弥陀堂とともに現存する数少ない貴重な文化遺産となっています。

また、堂内にある本尊の阿弥陀如来坐像（写真2）は藤原秀衡とその妻により作られたとされており、光背を含めた大きさは5m18cmと圧巻の大きさとなっております。住職から御像は平成28年から4年間かけて修理修復がされ、御像の搬入などについて説明をしていただきました。

今回の研修では、それぞれ平泉と歴史的なつながりのある地を訪れ、当時の様子を考える事のできる貴重な経験となりました。今後も文化遺産に触れる機会を設け、平泉の世界遺産の意識啓発につながる研修を行っていきます。